

---

# 今年も素敵な思い出を...

ディゴッド

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

今年も素敵な思い出を…。

### 【コード】

N0531BA

### 【作者名】

デイゴッド

### 【あらすじ】

明けましておめでとございませす！

今年も宜しくお願い致します。

けいおんの元旦記念小説です。

お時間があつたら是非見てください。

(前書き)

明けましておめでとございます！

今年も何卒よろしくお願い致します。

今回は、元旦を記念して『元旦記念小説』を書きました。

最後に少し言っておきます。

もしかしたら、読んでいて『つまらないな』と思うかもしれませんが、私自身、正直自信が無く、皆さんの期待にお応えできているか分かりません。

でも、自分なりのやり方で書きました。

以上の事をご理解いただいた上で読む事を推奨いたします。

「…おさん…遷さん」

「んっ…」

誰かの私を呼ぶ声で私は目が覚めた。

其処には何時の間にか着替えた憂ちゃんがいた。

「憂ちゃん…?」

隣には可愛らしい寝息を立てて唯が眠っていた。

「すー、すー…」

「もうすぐ初日の出だから、お姉ちゃんも起こして3人で一緒に見に行きませんか?」

「そうだな…行こうか3人で」

その後、唯を起こして私達3人は初日の出を見に向かった。

「憂〜！澪ちゃん〜ん！速く速く〜！もう少しで日が昇るよ〜！」

真っ先に頂上に着いた唯の元に私達は急いで向かった。

「ほらほら、もう少しだよ〜！」

「もうお姉ちゃんったら、あんなにはしゃいじゃって」「ウフフ

「唯は相変わらずだなあ」

そして、その直ぐ後に初日の出の光が差し込んで来た。

「綺麗だね……」

「そうだね、お姉ちゃん……」

「そうだな……」

太陽からの光はまるで今年の私を祝い様に感じる。

「唯、憂ちゃん。今年もよろしくな」

「うん！いっぱい思い出作ろっね！」

「こちらもよろしくね。お姉ちゃん、湊さん」

これから1年間、どんな年になるのかまだ解らない。

でも、今年も去年以上に素敵な思い出がいっぱいの年になるといい  
と私は思う。

だから今年もよろしくな、唯、憂ちゃん。

f i n .

(後書き)

如何でしたか？

こんな私ですが、何卒今年も宜しくお願い致します。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0531ba/>

---

今年も素敵な思い出を...

2012年1月1日01時46分発行